

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

長尾谷高校・通 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 府中市民球場 第3試合 1回戦

■試合時間 3時間37分 ■備考 延長11回

■審判 球審:原田 塁審:石島 末柄・齊藤 渡辺真

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				計	安	失
静岡中央	山静・静岡	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1				5	3	3
長尾谷・通	大阪	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0				4	11	3

8月20日、8回裏終了時点で球場使用時間制限により、サスペンデッドゲームとなる。  
大会特別規定により特別継続試合を8月21日府中球場にて9回表より実施した。

静岡中央		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
1	遊		望月 優真	3	3	1	0	四球		中飛		四球		中安	四球			中失			
2	一		多々良 光沙希	1	1	0	1	死球		死球		死球		犠失	死球			遊ゴ			
3	三		井上 亮	4	0	0	0	投犠		遊飛		三振		投飛	二ゴ			四球			
4	捕		杉浦 大地	5	0	0	0	三振			三振		三振	三振		右飛		死球			
5	右	投	川島 敏樹	3	1	0	0	三振			死球		四球	死球		三振		三振			
6	二		繁田 紘輝	4	0	1	0		三振		三振		四球	三安			三振				
7	左		日高 健太	4	0	1	0		右飛		投ゴ		四球	三振			中安				
8	投		近藤 一輝	1	0	0	0		投ゴ												
8	中		金澤 勇士	4	0	0	0					三振	右飛		三振		投併				
9	中	右	井本 匡亮	5	0	0	0			三振		一ゴ	三振		三振		三振				
合計				34	5	3	1	残塁:12 併殺:0													
備考																					

■バッテリー

投手
近藤 一輝
川島 敏樹

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 一輝	2 1/3	13	5	0	2	1
川島 敏樹	8 2/3	40	6	13	7	1

長尾谷・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
1	三		植田 凌右	4	1	1	0	四球	遊ゴ		四球		一ゴ		三安		遊ゴ				
2	左		土井 敏功	6	0	3	1			右安	三失		左3		三振		中2				
3	一		今井 翼	5	0	1	0	捕邪		左安	三振		三振		四球		二飛				
4	投	遊	中村 風人	5	0	0	0	一飛		遊ゴ	三振		四球		遊飛		投ゴ				
5	捕		木村 善太郎	4	0	2	0		左2	死球		左安	四球		三振		三振				
6	遊	投	釜田 新	6	1	2	0		遊安	遊飛		三振	中飛			三振		投安			
7	中		柏村 友也	6	0	0	0		二ゴ	三振		三振		二飛		三振		一邪			
8	右		今川 達貴	3	1	0	0		四球		死球	遊ゴ		三振		四球		中飛			
9	二		吉田 優希	5	1	2	1		中安		一ゴ		左2	三ゴ		三振					
合計				44	4	11	2	残塁:16 併殺:1													
備考																					

■バッテリー

投手
中村 風人
釜田 新

捕手
木村 善太郎

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中村 風人	5 1/3	25	0	9	9	2
釜田 新	5 2/3	25	3	9	5	0

■戦評

1回戦、府中市民球場の第3試合は前年度三位、山静地区代表・静岡県立静岡中央高校と3年ぶり3回目出場の大阪府代表・長尾谷高校通信制の対戦となった。試合は2回に先制した長尾谷が4回にも2点を追加し優位に進める。静岡中央も5回、6回と隙のない走塁で無安打ながら1点ずつを奪い追いつく。引き離したい長尾谷は6回裏、2本の長打で1点を追加する。粘る静岡中央は7回、上位打線がまたもや隙のない走塁で2点を奪い試合を振り出しに戻す。その後同点のまま8回裏終了時に球場使用制限時間となり翌日の第1試合に特別継続試合となった。約12時間後の翌日午前9時過ぎに9回表より再開されると両軍とも前日の疲れも見せず互いに譲らず試合は延長戦へと突入した。10回裏、長尾谷は2番土井がこの試合3安打目となる二塁打を打ち一死二塁と一打サヨナラの好機を作るも後続が断たれ無得点に終わる。すると11回表、今度は静岡中央この回先頭1番望月が敵失で出塁するとすかさずこの試合6回目となる盗塁で三塁を陥れ好機を広げる。続く2番多々良の内野ゴロの間に生還し貴重な1点を上げる。その裏の長尾谷の攻撃を0点に抑え2日間、延べ3時間37分の熱戦に終止符を打ち静岡中央が5-4で勝利した。一方、惜しくも敗れた長尾谷は11安打を打ちながらも12残塁と攻撃の決め手を欠いたことが痛かった。